

住み慣れた地域で 安心して暮らすためには ①

講師 堀川 涼子さん

(美作大学生活科学部・福祉のまちづくり学科)



とき 2010年9月4日(土) 2時～

ところ 岡山県男女共同参画センター「ウイズセンター」

(岡山市北区南方 2-13-1 「きらめきプラザ」 6F)

主催 人権・福祉講座 2010 実行委員会

後援 岡山県・岡山市・倉敷市

資料代 500円

私たちは、超高齢社会への急速な進行の中で大きな問題に直面しています。認知症高齢者や独居世帯も増加しています。

そのような中で、高齢者の虐待・孤立死・介護うつなど、様々な事件が連日報道され、それらの問題は一層、重度化・深刻化・複雑化しているように見えます。

あなたの周りで介護をしている人、介護を受けている人がいますか？ もし地域で介護による問題を抱えた人がいた場合、どこに相談すれば良いかご存知ですか？

誰もが「どんなに重い病気や障害、生活課題を抱えていても、住み慣れた地域でいきいきと暮らしたい」と願っています。そのために当事者のみならず、行政、介護福祉施設、地域包括支援センター、社会福祉協議会等々、様々なアプローチが行われていますが、十分な連携となっているのでしょうか。



※JR岡山駅から徒歩15分程度

歳をとっても、認知症になっても、住み慣れた地域でいきいきと暮らせる地域づくりが求められています。そのために地域の一人ひとりが、何ができるか考えていきたいと思えます。

現在の高齢社会の現状と課題を踏まえ、地域で私たちができること、福祉や介護の専門機関ができること、行政がすべきこと等々、一緒に考えていきましょう。

どなたでも参加できます。お気軽にどうぞ。